



風の子 太陽の子

浜松市立相生小学校
令和4年4月28日

♡ 風の子 太陽の子 ～ともに未来を創る～ ♡

校長 鈴木 晶子



2022年度がスタートしました。132年の歴史と伝統のある相生小学校に、今年は81人の子供たちが入学しました。2～6年生を合わせて全校児童571人がそろい元気いっぱいです。

情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展し、複雑で予測困難な時代（コロナ禍も含め）に突入しています。子供たち一人一人が、この変化に受け身ではなく主体的に向き合い、多様な他者と協働しながらよりよい社会と幸福な人生を切り拓く「生きる力」を身に付けることできるよう新しい教育を進めてまいります。

【入学式でお祝いの品をいただく児童】

本年度は、教育目標「風の子 太陽の子」に“ともに未来を創る”と副題を付けました。そこで、1学期の始業式では、“ともに未来を創る”とはどういうことか二つ話をしました。

一つ目は、「どんな自分になりたいか、なりたい自分に向かって進んで行こう」ということです。「なりたい自分」とは何かを考えるヒントとして上橋菜穂子さんの『夢の守り人』の本の一節を紹介しました。

「おれにはね、人がみんなく好きな自分」の姿を心に大事にもっているような気がする。なかなかその通りにはなれないし、他人には照れくさくて言えないような姿だけどね。少なくとも、おれはその姿をもって生きてきた。そして、どうしていいか分からない分かれ道にやってきましたら、どっちに歩いていく方がく好きな自分かを考えるんだ。」

どんな自分になりたいかは自分の中の好きな自分のことだと思えます。どんな自分になりたいかの指針になるよう、相生小学校ではキャリア教育で付けたい4つの力「温かくかわる力」「あきらめずに挑戦する力」「自分を高める力」「夢をもちつなげる力」を身に付けていこうと指導していきます。保護者の皆様には、学習の振り返りやキャリア・パスポートを活用して子供たちへ励ましの言葉をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。子供たちの成長をともに見守っていきましょう。

二つ目は、今から始まる新しい学級、学年、学校での生活をよりよくするために、みんなで知恵を出し合って、計画し、実行し、創り上げていってほしいと話しました。

保護者・地域の皆様と心を合わせて、職員一同全力で教育活動に取り組みますので、今年度も御支援を賜りますようお願い申し上げます。

